

平成30年10月～12月期平均及び平成30年平均 労働力調査 都道府県別結果(モデル推計値)の概要(広島県)の公表について

平成31年3月1日
統計課

※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別結果(モデル推計値)を公表しています。
この概要は、平成31年3月1日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。

[完全失業率・完全失業者]

- ・ 広島県の平成30年10月～12月期平均の完全失業率(労働力人口に占める完全失業者の割合)は2.5%と前年同期(2.2%)に比べ0.3ポイントの上昇(図1参照)。都道府県別では高い方から10番目(図4参照)。
- また、平成30年平均の完全失業率は2.3%と、前年(2.3%)と同数値。
- ・ 広島県の平成30年10月～12月期平均の完全失業者数は3万7千人と、前年同期(3万2千人)に比べ5千人(15.6%)の増加(図2参照)。
- また、平成30年平均の完全失業者数は3万4千人と、前年(3万4千人)と同数値。

[就業者]

- ・ 広島県の平成30年10月～12月期平均の就業者数は144万2千人と、前年同期(143万2千人)に比べ1万人(0.7%)の増加(図3参照)。
- また、平成30年平均の就業者数は143万人と、前年(142万4千人)に比べ6千人(0.4%)の増加。

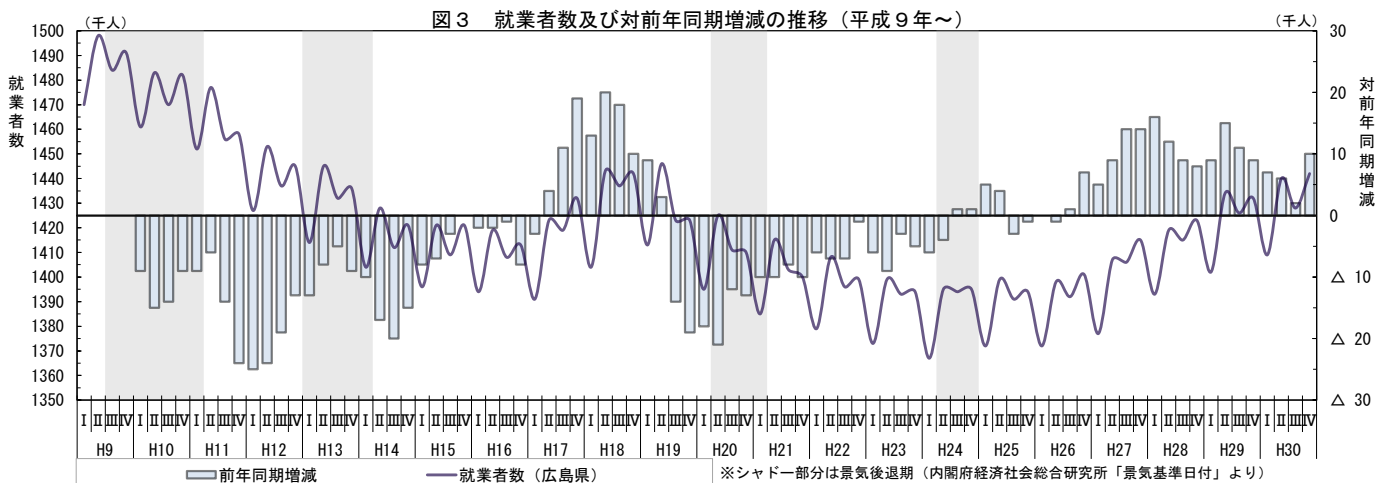
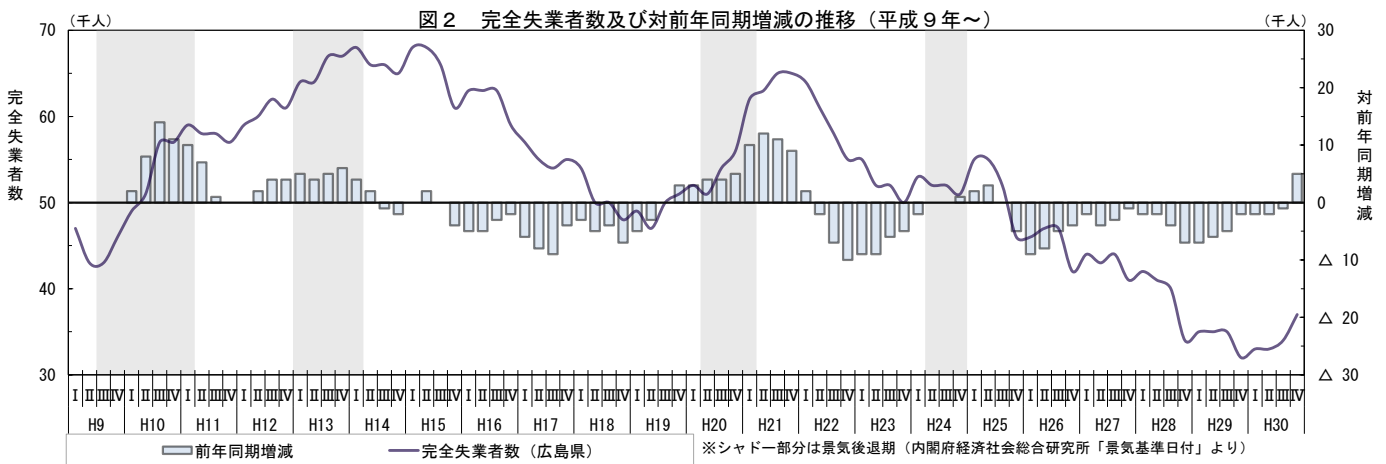
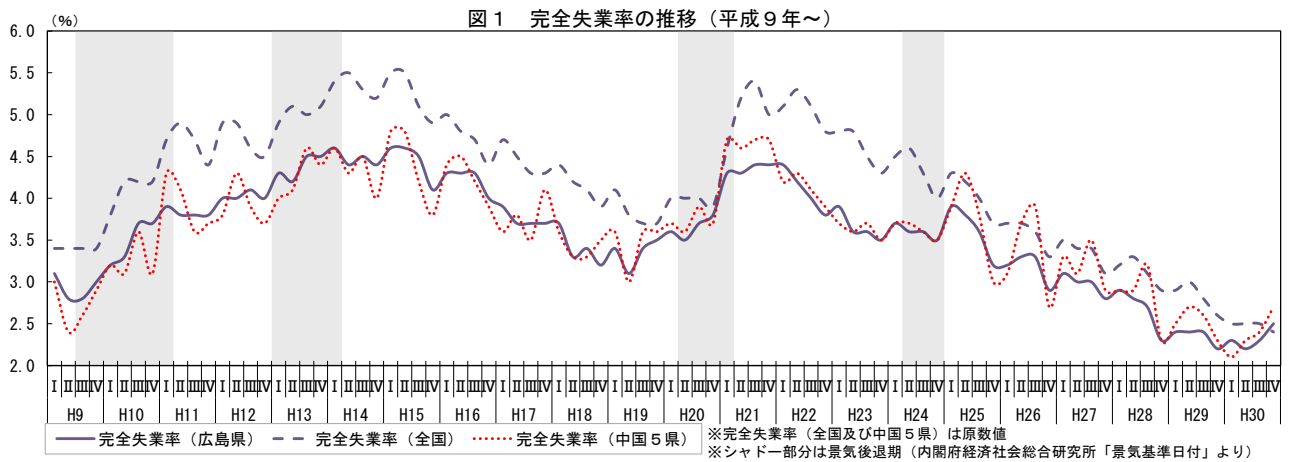
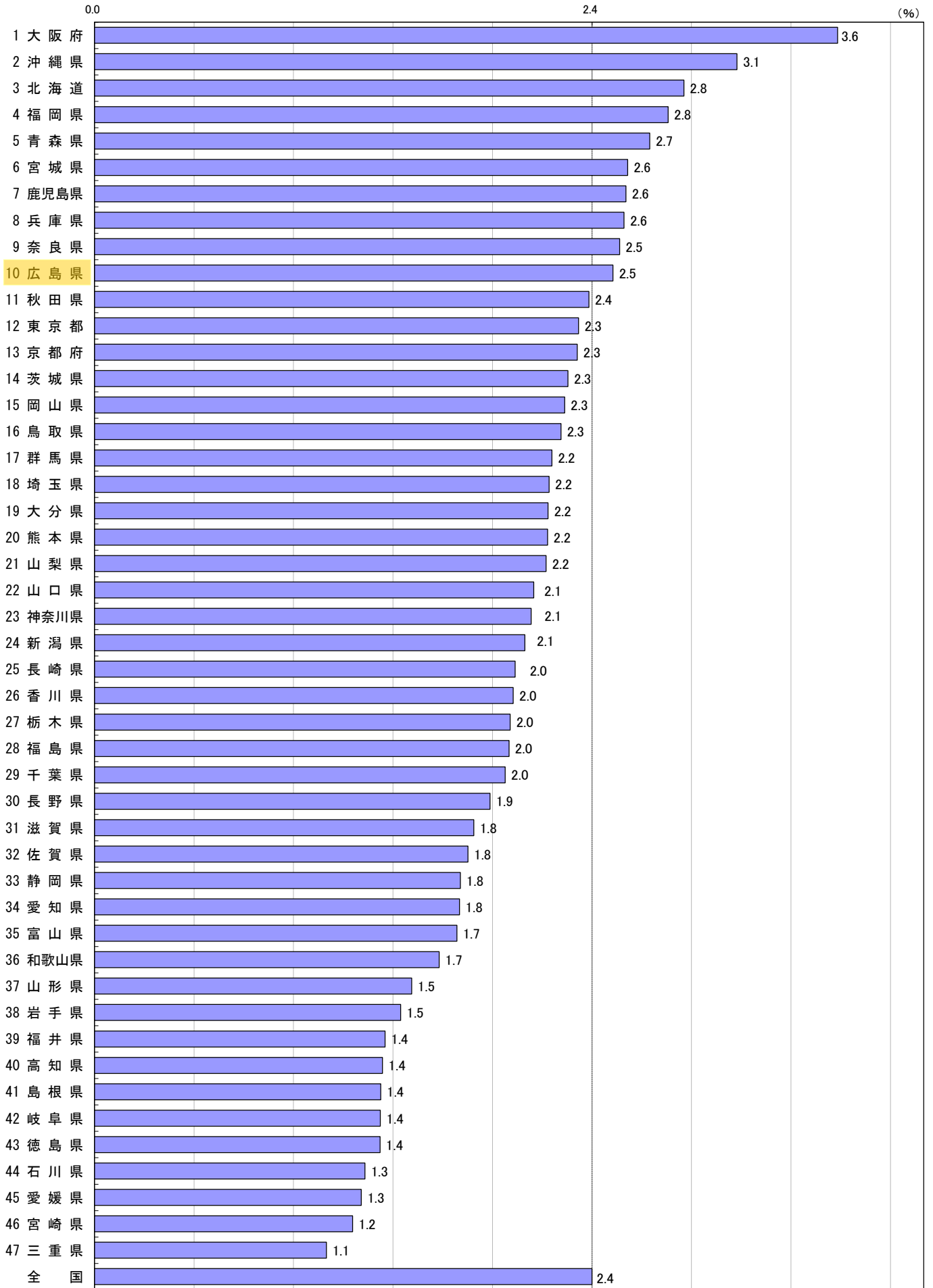


図4 労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）による完全失業率（平成30年10月～12月期平均）



※都道府県名の前の数字は、完全失業率(小数点第2位以下の数値も算出)の高い方からの順位を示している。